

取り組み状況資料

条 項：第27条 他の自治体等との連携及び協力

- 取り組み：①近隣市交流事業（H6～）
- ②札幌広域圏組合との連携、協力（H9～）
- ③大学連携事業（H21～）
- ④石狩地方開発促進期成会、道央圏連絡道路整備促進期成会による要望
- ⑤北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（H23～）
- ⑥食と健康と情報に係る連携と協力に関する協定（H21～）
- ⑦江別南空知4町医療連携協議会（H21～）
- ⑧地域医療連携（オンラインによる患者医療情報の提供）（H26～）
- ⑨学生地域定着自治体連携事業（H27～）
- ⑩自己採取HPV検査実施に関する協定（H28～）
- ⑪えべつ市民カレッジ（H26～）
- ⑫札幌市水道局との協定（H27～）

近隣市交流事業

○概要

厚別区、北広島市、江別市が連携協力してイベント等を開催する事業で、平成6年から開始。年1回の担当者による連絡会議と3市の各所管課が連携し実施するイベントがある。

○江別市関係課

- ・企画課 総括担当（会議の開催、取りまとめ等）
- ・広報広聴課 広報担当（3市のイベントチラシの作成等）
- ・市民生活課 森林浴ウォーキング担当
- ・子育て支援課 保育政策（子育てイベント等の担当）
- ・商工労働課 観光担当（厚別区民まつりへの出店取りまとめ等）
- ・スポーツ課 スポーツ交流事業担当（パークゴルフ等のイベント開催）

○各種事業

（1）ファミリー森林浴ウォーキング

毎年6月第3週の日曜日に開催。3市から集まる参加者が野幌森林公園内をウォーキングし、ゴール地点で交流会を実施することで親睦を図る。

平成25年度	322名参加 (厚別区164名、江別市121名、北広島市37名)
平成26年度	雨天のため中止(参加申込者数は350名)
平成27年度	311名参加 (厚別区170名、江別市120名、北広島市21名)

（2）厚別区民まつり

7月の最終金曜日と土曜日に、ふれあい広場あつべつ、科学館公園、サンビアザおまつり会場で開催。各市の特産品販売コーナー設置及び郷土芸能（太鼓演奏）等を披露。

平成25年度	来場者数約65,000人
平成26年度	来場者数約60,000人
平成27年度	来場者数約70,000人

（3）近隣市交流パークゴルフ大会

地域住民がパークゴルフを通して相互に交流・親睦を図る。※3市持ち回り開催。

平成25年度	200名参加 (厚別区79名、江別市71名、北広島市50名)
平成26年度	200名参加 (厚別区81名、江別市69名、北広島市50名)
平成27年度	200名参加 (厚別区66名、江別市80名、北広島市54名)

(4) 近隣3市家庭婦人スポーツ交流大会

各市の女性がスポーツを通して相互に交流・親睦を図る。競技はバドミントン、卓球、バレーボールの3種目実施。※3市持ち回り開催。(平成28年度で終了予定)

平成25年度	258名参加 (厚別区154名、江別市64名、北広島市40名)
平成26年度	233名参加 (厚別区146名、江別市63名、北広島市24名)
平成27年度	278名参加 (厚別区138名、江別市108名、北広島市32名)

(5) 近隣市子育て支援者交流会

子育て支援の環境づくりを推進するために、近隣3市の子育て支援関係者が講演会や情報交換を通じ交流を図る。※3市持ち回り開催。

平成25年度	119名参加 (厚別区45名、江別市55名、北広島市19名)
平成26年度	118名参加 (厚別区74名、江別市30名、北広島市14名)
平成27年度	103名参加 (厚別区44名、江別市27名、北広島市32名)

札幌広域圏組合との連携・協力

○概要

近隣市町村との調整や連携をとりながら施策を進めていくため、昭和47年に圏域10市町村で構成する「札幌広域市町村圏振興協議会」を設立。その後、具体的な共同ソフト事業を行いながら圏域全体の振興を図ることを目的に、平成9年「札幌広域圏組合」として再スタートした。

平成17年に厚田村と浜益村が石狩市と合併したため、現在は8市町村(札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村)で構成されている。

観光、教育、文化振興に係るイベントの実施、首都圏への移住促進PRイベントやパンフレット配架、ホームページ等による広報活動が主な事業内容。

○各種事業

(1) 職員研修・研究事業

① 共同研修事業

圏域から希望する市町村職員が参加し、資質向上や交流促進を図る。
※法務基礎研修・整理力アップ研修・資料作成センスアップ研修など。

平成25年度	13講義25名が参加
平成26年度	12講義19名が参加(札幌市を除く)
平成27年度	14講義19名が参加

② 新規採用職員後期研修事業

採用後6ヵ月を経過した構成市町村の新規採用職員(札幌市を除く)を対象に、半年間の実務経験を踏まえて、能力向上と適応力養成を目的とした研修。

平成25年度	5市1町1村の159名が参加(年4回実施)
平成26年度	5市1町1村の162名が参加(年5回実施)
平成27年度	5市1町1村の134名が参加(年4回実施)

③ 専門研修事業

圏域市町村が抱える共通の課題に関する専門性の高い研修。

平成25年度	観光に関する研修、36名が参加
平成26年度	起業家による地域振興に関する研修、48名が参加
平成27年度	メディアを活用したシティプロモーション研修、16名が参加

④ 研究事業

平成25年度	・再生可能エネルギー調査事業 調査報告書を圏域市町村や関係機関へ配布
平成26年度	・共同研究事業(1年目) 8市町村13名が参加し、圏域市町村が共同で取り組むべき行政課題の発掘と若手職員の資質向上や交流促進を目的として、平成26年度からの2か年事業として全8回実施
平成27年度	・共同研究事業(2年目) 1年目に調査研究した課題について、解決に向けた研究を8回にわたり実施し、報告会も開催

(2) 圏域交流促進事業

① 広報事業

地下鉄大通駅「ふれあい広場」でのパンフレット等の配架、組合ホームページの充実、札幌市東区を拠点とするコミュニティ FM への出演等のほか、平成 27 年には札幌市東京事務所をはじめとする関係機関と連携した首都圏向けの札幌圏域シティプロモーションイベントを 1 月 23 日、24 日に東京有楽町駅前広場で実施。



② 地域旅振興事業

地域旅観光プランの造成・商品化を進めたほか、安全マニュアルの作成・配布や講演会の開催、旅行業者などによるモニターツアー等を実施。

平成 25 年度	・造成プラン数：56 ・モニターツアー（2 回実施）：19 名参加
平成 26 年度	・造成プラン数：11 ・モニターツアー（2 回実施）：29 名参加
平成 27 年度	5 市 1 町 1 村、33 本のおでかけルートを作成し、ウェブサイトにて情報発信

③ 魅力発見まち歩き事業

地元の特産品などの食べ歩きを組み込んだまち歩き事業を実施し、参加者からの SNS 等による情報発信によって圏域の魅力を広く周知する。

平成 25 年度	全 7 回実施し、1,570 名が参加
平成 26 年度	全 3 回実施し、222 名が参加
平成 27 年度	全 4 回実施し、361 名が参加



(3) 人材・文化交流事業

①ジュニアコンサート

札幌交響楽団の音楽を札幌コンサートホール kitara で聞くことにより、参加児童（対象は5・6年生）の感性や創造力の伸長を図ることを目的とする事業。

平成25年度	46校、3,168名が参加（市内17校）
平成26年度	52校、3,501名が参加（市内17校）
平成27年度	50校、3,523名が参加（市内17校）

②札幌圏アート振興事業

地域資源を活用し、アート体験イベントやプロジェクションマッピング等を用いて地域のにぎわいの創出や芸術文化の振興を図ることを目的としたイベントを開催。

平成26年度	当別町立弁華別小学校において「ちょこっとクリエイイト PROJECT」を開催、延べ922名が参加
平成27年度	北広島市において「ちょこっとクリエイイト アートフェス in きたひろしま」を開催、延べ236名が参加

大学連携事業

○概要

江別市には、札幌学院大学、北翔大学、北海道情報大学、酪農学園大学の4大学があり、全国でも有数の文教都市である。市では、これらの大学が持つ人的資源、知的資源をまちづくりに有効活用するため、平成21年2月に「江別市・大学・江別商工会議所による包括連携・協力に関する協定」を締結した。この協定の本旨に基づき下記の事業を創設し、大学の人的・知的資源を活用した地域活性化を推進している。

(1) 江別市大学連携調査研究助成事業（平成21年～）

4大学の教員を対象に、江別の地域活性化に関する調査研究を募集。所管部長職による選考を経て、採択されたものに補助金を交付。上限額は1件1,000千円で予算総額は3,000千円。江別市と大学との連携を深める目的から、市の関係部局と情報交換等を行いながら実施する。

※平成21年～27年までで、28事業採択。過年度採択事業の詳細については、別紙資料のとおり。

(2) 江別市大学連携学生地域活動支援事業（平成22年～）

4大学の学生を対象に、学生の自主的なまちづくり・地域活動を募集。募集及び選考の流れは上記と同じ。上限額は1件100千円で予算総額は300千円。

※平成22年～27年までで、20事業採択。過年度採択事業の詳細については、別紙資料のとおり。

(3) 大学連携連絡会議

各大学の事務担当者との会議。不定期に開催してお互いの要望事項を伝えたり、意見交換を行うための場。

(4) 包括連携協定懇談会

市内4大学の学長、江別商工会議所会頭、江別市長が協定の更新、大学連携の取り組み状況、今後の方針等についての意見交換を行う。

江別市大学連携調査研究事業 過年度採択事業一覧

江別のまちづくり・地域活性化に関する大学教員の調査研究事業に対して補助を行います（1研究につき上限1,000,000円）

平成27年度 採択事業5件／応募事業10件

No.	大学	学部・学科	職名	氏名	調査研究事業名	補助決定金額（円）
1	拓殖学園大学	農食環境学部 環境共生学科	准教授	中谷 晴夫	野幌森林地下水の動態と水質としての利用に関する調査研究	145,000
2	拓殖学園大学	農食環境学部 環境共生学科	教授	齊藤 一	ソーシャル・ビジネスに関するケーススタディおよびその収益性試算	463,000
3	北翔大学	教育文化学部 芸術学科	准教授	渡井 直世	若い世代向けおごるおしれ〜ル啓発手法等の研究	500,000
4	北翔大学	教育文化学部 心理応用セラピー学科	准教授	澤 聡一	江別市における子育て期、青年期の子育て支援に関する実践的調査研究	514,000
5	札幌学院大学	経営学部経営学科	教授	渡辺 信雄	札幌市道庁都市における地域住民幸福度に関する調査研究	606,700

平成26年度 採択事業4件／応募事業11件

No.	大学	学部・学科	職名	氏名	調査研究事業名	補助決定金額（円）
1	拓殖学園大学	農食環境学部 環境共生学科	准教授	岡井 静子	江別の農産物（野菜等）を活用した商品開発についての研究	600,000
2	北海道情報大学	経営情報学部 先端経営学科	准教授	金岡 大介	最新情報をもとにした食品製造業の競争力分析	934,000
3	札幌学院大学	経済学部	教授	中村 永寛	オープンデータを活用した政策提案とその他の基礎システムの構築	100,000
4	北海道情報大学	経営情報学部 先端経営学科	准教授	藤本 直樹	DIYを活用した“食べつたえる化”プロジェクト	600,000

平成25年度 採択事業4件／応募事業6件

No.	大学	学部・学科	職名	氏名	調査研究事業名	補助決定金額（円）
1	北翔大学	大学院生涯学習学専攻	教授	千葉 誠文	歴史的建造物等の保存活用による地域環境保全と地域振興策に関する調査研究	600,000
2	北海道情報大学	経営情報学部 先端経営学科	講師	湯藤 雄一	江別市内における公共交通の実態に関する調査	500,000
3	北翔大学	人間福祉学部 医療福祉学科		藤本 繁次郎	江別市における緊急需要の実態についての調査研究（2） ー江別市長の救急ニーズと対策ー	600,000
4	拓殖学園大学	農食環境学部 環境共生学科	教授	藤平 大樹	障がい者の農業研修事例の収量と、農業・福祉・教育関係者の連携に基づく就労促進に関する研究	500,000

平成24年度 採択事業4件／応募事業5件

No.	大学	学部・学科	職名	氏名	調査研究事業名	補助決定金額（円）
1	拓殖学園大学	農食環境学部環境共生学科	教授	藤平 大樹	江別市における知的障がい者の農業分野への就労促進の課題とシステム構築への提案	1,000,000
2	拓殖学園大学	農食環境学部環境共生学科	教授	金子 正美	大規模災害対応のためのハイブリッド通信システムの研究・開発	700,000
3	北翔大学	人間福祉学部医療福祉学科	代表	藤本 繁次郎	江別市における緊急需要の実態についての調査研究	1,000,000
4	北翔大学特別大学部			菊地 謙夫	地域防災教育における教材開発に関する研究	300,000

平成23年度 採択事業3件／応募事業10件

No.	大学	学部・学科	職名	氏名	調査研究事業名	補助決定金額（円）
1	北海道情報大学	経営情報学部先端経営学科	講師	湯藤 雄一	江別市民の購買行動および生活意識調査研究事業	1,000,000
2	北海道情報大学	健康情報科学研究所センター	代表	西平 博	食を基盤にした健康推進都市づくりのための啓発活動に関する調査研究事業	600,000
3	拓殖学園大学	農食環境学部 環境共生学科	准教授	小川 健太	江別市における緊急地震速報システム確立に向けた空間情報活用に関する研究	1,000,000

平成22年度 採択事業4件／応募事業17件

No.	大学	学部・学科	職名	氏名	調査研究事業名	補助決定金額（円）
1	拓殖学園大学	経営学部食生活学	准教授	深澤 文樹	江別市産業迎商展（平成17年度）の作成とその活用に関する調査研究	600,000
2	拓殖学園大学	環境システム学部地域環境学科	講師	山下 豊太郎	野幌森林公園利用者の安心・安全向上につながる歩道舗装の普及率についての調査研究事業	750,000
3	北翔大学	大学院人間福祉研究科人間福祉学専攻	教授	齊藤 徹	災害対策推進者の業務計画策定に関する調査研究事業ーその2ー 避難実験と避難シミュレーション分析	600,000
4	札幌学院大学	経営学部経営学科	教授	岡西 邦人	ファミリー世帯転入増加に向けての基礎調査研究事業	700,000

※平成22年度No.1については、事業中止により採択取消

平成21年度 採択事業4件／応募事業15件

No.	大学	学部・学科	職名	氏名	調査研究事業名	補助決定金額（円）
1	北翔大学	人間福祉学部 地域福祉学科	教授	齊藤 徹	福祉施設における避難方法の調査研究	1,000,000
2	北翔大学	生涯学習システム学部健康運動プランニング学科	准教授	永谷 博	産官連携による江別市のスポーツ振興について	200,000
3	北翔大学	北方衛生生活スポーツ研究センター	研究員	横山 安恵子	江別市内における児童生徒の体力向上に関する実践的研究	700,000
4	拓殖学園大学	環境システム学部 食生活環境学科	教授	金子 正美	空と歴史から見た江別 空中写真を活用した環境教材の作成	1,000,000

平成 27 年度江別市大学連携調査研究事業補助金 採択事業概要

平成 27 年度は 10 件の応募があり、厳正なる選考の結果以下の 5 事業を採択いたしました。採択事業については、江別市の所管課と連携しながら事業を推進していただき、その結果は江別市の課題解決や政策の実現に活用していきます。

「ソーシャル・ビジネスに関するニーズ発掘およびその収益性試算」

酪農学園大学 押谷 一 教授 463,000 円

【概要】

市民及び各団体等へのアンケート調査により、新たなソーシャル・ビジネスのニーズを発掘し、CVM（経済評価手法）を用いて収益性などを試算し、地域社会の課題解決に役立てる研究。

「野幌原始林地下水の応急給水源としての利用に関する調査研究」

酪農学園大学 中谷 暢丈 准教授 745,000 円

【概要】

野幌原始林の地下水の水質調査により、災害発生時の緊急給水源として利用可能か検証し、活用可能であれば、効果的な給水方法や協力体制の設計・構築を行う研究。

「若い世代向けごみ出しルール啓発手法等の研究」

北翔大学 浅井 貴也 准教授 590,000 円

【概要】

ごみの分別・出し方について、特に学生などの若い世代や転入者でも直ぐに理解を得られる様な効果的な啓発手法や災害時のごみ処理に関する対応策についての研究。

「江別市における思春期・青年期の子育て支援に関する実践的調査研究」

北翔大学 澤 聡一 准教授 514,000 円

【概要】

中学生・高校生の子を持つ保護者の悩みを調査し、思春期・青年期の子どもへの子育て支援及び乳幼児期からの一貫性（連続性）のある子育て支援実現のための研究。

「札幌市近郊都市における地域住民幸福度に関する調査研究」

札幌学院大学 渡辺 慎哉 教授 686,100 円

【概要】

GNH（国民総幸福度）という新しい視点で住民意識を調査し、江別市の強み・弱みを分析することで、今後の街づくりの新たな指標として活用するための研究。

江別市大学連携学生地域活動支援事業 採択事業一覧

市内の学生を中心とした、学生の自主的な地域活動を支援します（1事業につき上限100,000円）

平成27年度 採択事業6件/応募事業6件

No.	大学	団体名	代表者名	指導教員	活動事業名	補助決定金額 (円)
1	北翔大学	北翔大学 石塚ゼミKokusho プロジェクトチーム	志茂 未乃梨	石塚 誠之	北翔大学 子どもいきいきプロジェクト	78,000
2	鶴巻学園大学	スベつ白標の森ドッグランの会	中嶋 真琴	杉原 亮	動物愛護フェスティバルにおけるドッグラン開催	78,000
3	札幌学院大学	人文学部 人間科学科 内田ゼミ	吉川 真聖希	内田 野	大森緑蔭商店街を核としたコミュニティづくりのための基礎調査	88,000
4	札幌学院大学	札幌学院大学バリアフリーカレッジ	丸岡 瑠美	牧野 誠一	札幌学院大学バリアフリーカレッジ	23,000
5	北海道情報大学	ヒダ工場跡地の未来プロジェクト	栗島 慧	斎藤 一	デザイン思考に基づき江別市を盛り上げる二次元アイドル創生事業	68,200
6	札幌学院大学	50歳カフェ教育プロジェクト	後藤 紅吉	河西 邦人	小学生の夢の店	45,400

平成26年度 採択事業5件/応募事業5件

No.	大学	団体名	代表者名	指導教員	活動事業名	補助決定金額 (円)
1	札幌学院大学	河西ゼミナールパンプロジェクトチーム	後藤 勇希	河西 邦人	江別市の特産品を使用したパンの開発プロジェクト	100,000
2	北海道情報大学	北海道情報大学農産情報学部「食と健康と情報」ゼミナール	酒橋 明広英	西平 輝	食を基盤にしたヘルスリテラシー啓発と健康まちづくり	70,000
3	北海道情報大学	北海道情報大学・合同ゼミ	山本 夏美	藤本 清樹	「もらエコ in 江別2014」プロジェクト	50,000
4	札幌学院大学	バリアフリーカレッジ	千葉 絵里菜	牧野 誠一	バリアフリーカレッジ	23,000
5	鶴巻学園大学	鶴巻学園大学農食環境学群環境共生学級環境共生学級研究室	奥山 ゆめ美	高橋 賢治	江別市におけるヒートアイランド調査	80,000

平成25年度 採択事業2件/応募事業2件

No.	大学	団体名	代表者名	指導教員	活動事業名	補助決定金額 (円)
1	北海道情報大学	江別駅活性化研究会	鈴木 将介	遠藤 謙一	江別駅前等其コンテスト	95,000
2	札幌学院大学	江別オープンカレッジ実行委員会	石 岡太	牧野 誠一	江別オープンカレッジ	100,000

平成24年度 採択事業2件/応募事業3件

No.	大学	団体名	代表者		事業名	補助決定金額 (円)
			総括	共 志		
1	北海道情報大学	北海道情報大学江別初大学留シリアスゲームプロジェクト		阿部 将介	ゲームフィクションに基づいた「江別観光」アプリケーション開発事業	100,000
2	鶴巻学園大学	農食環境学群環境共生学級キリスト教研究室	教員	藤井 創	江別市と道南地域における農業を利用した知育障がい者の就労実態の調査	100,000

平成23年度 採択事業2件/応募事業2件

No.	大学	団体名	代表者		事業名	補助決定金額 (円)
			総括	共 志		
1	鶴巻学園大学	農食環境学群環境共生学級	教員	金子 正美	野幌森林公園バザード・レクマッピングの作成	50,000
2	鶴巻学園大学	獣医学部獣医学類	教員	浅川 昌彦	身近な鳥の野生動物医学基礎研修事業	50,000

平成22年度 採択事業3件/応募事業3件

No.	大学	団体名	代表者	事業名	補助決定金額 (円)
1	北海道情報大学	同僚ーゼミナール	齊藤 一	拡張現実感（AR）を活用した江別の観光マップ・パンフレット制作事業	50,000
2	鶴巻学園大学	環境システム学部応用環境学科環境C13級実習	金子 正美	ジオレンジャーZr、森成スチール事業	50,000
3	北翔大学	生涯スポーツ学部スポーツ教育学科	上田 知行	健康運動指導者をめぐる学生による地域活動者への健康運動支援	50,000

平成 27 年度 江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金 採択事業概要

平成 27 年度は6件の応募があり、選考の結果採択されました。なお、採択事業につきましては、市の関係部局と協力のうえ活動していただきます。

北翔大学 子どもいきいきプロジェクト 北翔大学 石塚ゼミ Hokusho プロジェクト
チーム 76,000 円

発達障害のある幼児・児童を対象とした余暇活動支援を、大学の専門教員の指導のもと保育・教育を志す学生が中心となり行うことで、児童とその家族が社会に出て、自身の可能性を高めることを支援する活動。



動物愛護フェスティバルにおけるドッグラン開放 えべつ白樺の森ドッグランの会
76,000 円

地域の愛犬家を中心に無料で利用できるドッグランを、「動物愛護フェスティバル in えべつ」開催時に酪農学園大学のキャンパス内に簡易設置することで、飼い主同士の「憩いの場」を提供する活動。



大麻銀座商店街を核としたコミュニティづくりのための基礎調査 札幌学院大学 人文学部 人間科学科 内田ゼミ 80,000 円

商店街が持っている地域コミュニティ形成のための潜在力に着目し、市内大学で学ぶ大学生がコーディネーターとなり、地域社会が抱えている問題解決の方法や、地域活性化を図るための方法を探る基礎資料を作成する活動。



札幌学院大学バリアフリーカレッジ

札幌学院大学バリアフリーカレッジ 23,000 円

江別市在住の知的障害を有する方で、「大学で学ぶ機会があれば学んでみたい」と希望する方に大学の講座を受講していただき、必要な支援を行いながら、受講者の学習意欲の向上や就労意識を高めることを目的とした活動。



デザイン思考に基づく江別市を盛り上げる二次元アイドル創成事業
大学 ヒダ工場跡地の未来プロジェクト 66,200 円

北海道情報大

地域をPRする上で、重要な役割を担いつつある二次元アイドルを、学生世代の若者をターゲットに創成することにより、江別市の魅力の新たな宣伝・活性化方法の提案、加えて市内での消費活動の促進を試みる活動。

小学生の夢の店

札幌学院大学 SGU カフェ教育プロジェクト 45,400 円

小学生を対象とした早期のビジネス教育により、「仕事」への関心を高め、社会人基礎力の開発に繋げることを目的とし、より現実的に将来の夢を考えるきっかけとなるような、ビジネス教育プログラムの開発を行う活動。



【大学連携調査研究助成事業 研究結果活用事例】

大学名	年度 NO	教員名	概 要
酪農学園大学	H22 NO. 5	山下重紀郎	<p>●<u>防災訓練等における位置情報等可視化データの活用</u> 災害時の被災状況を地図上に可視化・共有する研究で、職員災害図上訓練等に学生に参加してもらい、地図データ作成等の実証・研究を継続しています。</p> <p>また、安全な救助活動を支援するための「ハイブリッド通信システム」を消防署の水難救助訓練等で活用するなどして、位置情報伝達等の実証実験を継続して行っています。</p>
	H23 NO. 10	小川 健太	
H24 NO. 12	金子 正美		
	H26 NO. 19	筒井 静子	<p>●<u>江別の農畜産物（野菜等）を活用した商品開発についての研究</u> 江別産ブロッコリーを使用した「ブロッコリースムージー」を町村農場と共同開発し、北海道が行っている食品機能性表示制度「ヘルシーD.O」にも認定されているほか、実際に町村ミルクガーデンでの店頭販売も実施しております。</p>
北翔大学	H21	晴山紫恵子	<p>●<u>「朝運動プログラム」事業及び出前授業の実施</u> 児童の体力・運動能力の向上を図るため、遊びを通じた体力向上の取り組みをモデル校で実施し、さらに教員と学生が小学校へ出向き、「朝運動プログラム」事業普及のため出前授業を行っています。</p>
	H21 NO. 1	齊藤 徹	<p>●<u>避難所のプライバシーを確保するダンボールハウス開発</u> 防災分野における連携により、災害時の避難所でプライバシーを確保するダンボールハウスが開発され、防災訓練で展示する等、市民への防災意識の啓発が行われている外、職員向けの防災研修でも活用されています。</p>
	H22 NO. 6		
札幌学院大学	H22 NO. 7	河西 邦人	<p>●<u>子育て世帯の転入促進</u> 子育て支援のPR戦略等、子育て世帯の転入を促進する施策に活用しており、ウエルカムえべつ事業における江別市のPRパンフレット「えべつのじかん」の作成や専用ホームページの開設などにつながっています。</p>
北海道情報大学	H23 NO. 8	遠藤 雄一	<p>●<u>商店街の活性化</u> 市民の購買行動や生活意識の調査研究を機会に、大学や大学生と商店街の連携が生まれ、学生主体による「まち歩き」イベントを開催するなど、商店街活性化の取り組みにつながっています。</p>
	H23 NO. 9	西平 順	<p>●<u>食と健康に関する研究・健康カード事業</u> ヒトの健康に役立つ食品の機能性に関する研究で、食と健康に関するニーズ調査の実施や、市民への啓発活動の研究等を行い、市民の健康管理に役立つ健康カード事業へ発展しています。</p>

石狩地方開発促進期成会における要望・提案書の提出

○概要

「石狩地方開発促進期成会」の構成団体は、札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村の8市町村。この団体は、石狩地方の開発事業（建設・治水・農業等）の実施を国（中央省庁・国会議員）と道（北海道庁・道議会議員）に要望することを目的としている。

同会の事務局は千歳市企画課内にあり、要望のとりまとめ・調整等を行っている。

道央圏連絡道路整備促進期成会における要望活動

○概要

「道央圏連絡道路整備促進期成会」の構成団体は、札幌市、小樽市、江別市、千歳市、石狩市、当別町、長沼町、南幌町の8市町。本会は、道央圏連絡道路（国道337号）の整備促進、早期完成を期することを目的としており、目的達成のため、国（国会議員・関係官公庁）に対する要望活動などを行っている。本会の事務局は江別市建設部管理課にある。

1. フード特区の概要

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）

- ・平成 23 年 12 月指定
- ・日本で唯一の「食」の国際戦略総合特区

◆目的

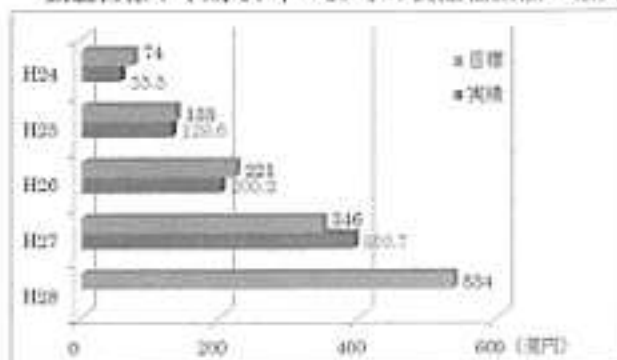
成長著しい東アジアの食市場を獲得するため、北海道の食産業分野の優位性を最大限活かし、生産から販売の各分野から成る強固な食のバリューチェーン（価値連鎖）を形成し、東アジアにおける食産業の研究開発・輸出拠点化を目指す

◆指定地域

札幌市・江別市	食品の安全性・有用性の分析評価と研究開発の拠点
函館市	水産食品の研究開発の拠点
帯広市・十勝管内 18 町村	農食連携による食産業発展の拠点

◆目標及び実績

数値目標：平成 24 年～28 年の食品輸出額・輸入代替額等の累計 1,300 億円増



平成 27 年度の評価

- ・実績額 390.7 億円で、目標の 113% の達成。
- ・税制・金融支援制度を活用した施設の通年稼働開始や輸出商社ネットワークの活用等により実績額増加。
- ・フード特区機構が進めてきた中東向けの和牛のテスト輸出を初めて実施した。
- ・今後は、これまでに構築した海外への商流・物流の拡大や、ヘルシーDo の道外 OEM 解禁・国の機能性食品表示制度との併記による利用促進、特区 3 エリアの連携強化により、目標達成に向けた取組みの強化が必要。

◆優遇措置の概要

税制支援
 投資税額控除：新たな機械、建物等の取得価額の 12%（建物等は 6%）を法人税額から控除。
 特別償却：新たな機械、建物等の取得価額の 40%（建物等は 20%）を普通償却額に上積み

金融支援
 総合特区支援利子補給金：特区事業の実施に必要な借り入れを行う場合、0.7%・5 年間を限度として金利負担の軽減を受けることができる（金利軽減分を国が金融機関へ支給）

財政支援
 総合特区推進調整費：関係府省の既存の補助メニューを活用した上でなお不足する場合には、府省の予算制度での対応が可能となるまでの間、本調整費を当該補助予算に充当

規制緩和
 関連する法規制の緩和措置：特区事業を行う場合、関連する法律の規制緩和措置を実現

2. フード特区の取組み

(1) 平成 27 年度実績 - 主なもの

◆研究基盤と新たな市場づくり（研究開発拠点化）

- 北海道食品機能性表示制度（ヘルシーDo）の活用推進
 - ・フード特区機構において、制度の周知啓発活動として道内各地でのセミナー開催 12 回、展示会出展 11 回、道内外の企業訪問 343 社を実施。
- 食品試作・実証・製造プラットフォームの利用促進と運営
 - ・企業からの相談 28 件に対応し、新商品及び高付加価値商品の開発に寄与した。
- 植物工場クラスターの構築支援
 - ・太陽光利用型植物工場内に完全人工光型苗生産施設及び付帯施設の整備等を行った。

◆輸出拡大の推進

- 東アジア・東南アジアへの輸出拡大に向けた商流・物流の構築、拡充
 - ・海外在住コーディネーターや道内在住コーディネーターとの連携により、現地のニーズに合った道内企業や商品の発掘とマッチングを行い、輸出拡大や海外展開を支援するトータル・コーディネーター活動を実施。
- 中東をはじめとするイスラム諸国の市場開拓支援
 - ・ハラール対応と希獣理の実証に取り組み、アラブ首長国連邦(UAE)のハラール認証を取得後、牛肉のテスト輸出、現地プロモーションを実施し商流の基盤を構築した。
 - ・イスラム圏の市場獲得を目指し、ドバイ、トルコ等で現地食品企業等との交流会を実施。
- 道内企業が一体となった海外進出支援
 - ・道内企業による現地法人の設立や店舗開設等の海外進出の実施に必要な各種支援を実施。



北海道認定

ヘルシーDo

(2) 平成 28 年度の計画

これまでの成果を一層拡大し、経営目標の達成を実現するとともに、各取組が確実に自走しながら成果の拡大を進める。

ビジネス戦略の柱と平成 28 年度の主な事業

1. 研究基盤と新たな市場づくり

(目標) 研究開発拠点化に向けた高い付加価値のある加工食品の市場を創出

- ・北海道食品機能性表示制度(ヘルシーDo)への企業参入促進
- ・食品試作・実証・製造プラットフォームの利用促進と運営

2. ビジネス化の拡大

(目標) 特区数値目標達成に向けたビジネス化の推進

- ・東アジア・東南アジアへの輸出拡大に向けた商流・物流の構築、拡充
- ・中東をはじめとするイスラム諸国の市場開拓支援

3. 輸出支援ネットワークの拡充と活用(輸出拠点化)

(目標) 輸出支援事業の成果を企業等が活用できる仕組みを構築し、企業等が活用

- ・海外マーケットへの商流・物流に関する各種情報、海外輸入条件等の課題・解決方策等の DB 化を推進し、企業が活用できる仕組みを構築して、輸出拡大を目指す

3. 江別市の特区関連事業

◎総合特区推進事業(平成 24 年度～) : 平成 28 年度当初予算額 12,024 千円

市が食品の付加価値を高める研究・産業都市へと発展するため、国の指定を受けた「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」を推進する。

(事業の概要)・主なもの

①フード特区機構負担金(2,334 千円)

「フード特区機構」の運営費負担・健康カード事業負担金(江別市分)

②機能性食品開発支援補助金(6,500 千円)

ノーステック財団と連携し、市内食品企業等の機能性食品開発促進を図るための支援を行う。

③海外市場開拓支援事業(1,050 千円)

海外現地にて「江別フェア」を開催し、江別市内企業商品の PR 等を実施。

④フード特区広報事業(1,240 千円)

フード特区に関する市内の取り組みやビジネス環境を市外の企業に PR(東京での食のイベント)

4. 江別市の役割・取組み

◎主に次の取組みを関係部署と連携しながら実施

(1) 特区支援制度の窓口

- ・税制支援に係る特区計画への盛り込み、国・道との調整、申請企業のサポート、実施認定書等の発行など
- ・金融支援に係る事業者確認書の発行、申請企業のサポートなど

(2) 進捗状況など、特区情報の市内への発信

- ・広報対応・マスコミ調整、説明会等の開催(6/30 まで延べ 21 回 1,156 人)、視察・講演依頼の対応など

(3) 個別案件に係る対応

- ・財政支援に係る事業主体への支援、食の臨床試験の推進に係る実施主体の支援、創業・設備投資・流通等の個別相談の対応(6/30 まで延べ 56 案件)

(4) 市民の健康づくりとの連携

- ・市民の健康づくりと臨床試験ボランティアの拡大を図るための「健康カード」の配布(情報大が実施する取組の支援・連携)など

(5) 市内への企業誘致と環境整備(企業立地推進室企業立地課)

①食品加工業種に係る工場敷地の緑化面積率の緩和

(工場立地法に係る江別市準則条例の制定：平成 24 年 6 月 29 日施行済)

②工業団地「江別 RTN パーク」の追加造成(平成 24 年 4 月～平成 25 年 11 月)

③江別市の立地環境・ビジネス環境に係る情報発信(北海道フードビジネスセミナー：平成 28 年 7 月 13 日東京都)

④「江別市企業立地等の促進に関する条例」(平成 26 年 4 月施行)による立地補助金等の充実



健康カード

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [産業・ビジネス情報](#) > [企業立地](#) > [企業立地](#) > [新規立地や増設などをお考えの企業のみならずへ](#) | [企業立地に関する産業官選考](#) > [食と健康と情報に係る連携と協力に関する協定](#) > [食と健康と情報に係る連携と協力に関する協定の締結](#)

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [産業・ビジネス情報](#) > [産業振興](#) > [産業選考](#) > [新規立地や増設などをお考えの企業のみならずへ](#) > [企業立地に関する産業官選考](#) > [食と健康と情報に係る連携と協力に関する協定](#) > [食と健康と情報に係る連携と協力に関する協定の締結](#)

食と健康と情報に係る連携と協力に関する協定の締結



[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2014年1月30日更新

食と健康と情報に係る連携と協力に関する協定を締結しました

激変する経済情勢で、北海道の追い風になっているのは食品産業分野です。

北海道は食品産業の日本一の集積地であり、特に江別市は農商工連携88選に「江別麦の会」が選定されるなど農商工連携の先進事例地としての外部評価が高い市です。

江別市には食のイノベーションとサポート体制が整っており、その恵まれた環境の中で、食による住民の健康増進と予防医療の推進に役立てるため、食と情報に関する技術を基盤とした食品産業や関連産業の振興に関し、相互に連携・協力して協働事業に取り組むため、平成22年2月16日にこの協定を締結しました。



食品に関する技術の蓄積、食品産業との繋がりをもつ食品加工研究センターと食とITを活かした予防医療システムの構築を目指している北海道情報大学と江別市が連携・協力することで、予防医療に貢献する地域食品産業の育成と振興が可能となり、国内における食を基盤とした予防医療の先進的・食品産業モデル地域を構築することが期待できます。

[食と健康と情報に係る連携と協力に関する協定書 \(PDFファイル/95KB\)](#)

| [北海道情報大学のホームページ](#) | [食品加工研究センターのホームページ](#) |

| [北海道情報大学 健康情報科学研究センターのホームページ\(食品臨床試験ボランティアサイト\)](#) |

このページに関するお問い合わせ先

企業立地推進室企業立地課 企業立地担当

〒067-8674 北海道江別市高砂町6番地

江別市役所第2別館2階

Tel:011-381-1087 Fax:011-381-1072

[お問い合わせはこちら](#)

食と健康と情報に係る連携と協力に関する協定書

江別市（以下「甲」という。）、北海道情報大学、（以下「乙」という。）及び北海道立食品加工研究センター（以下「丙」という。）は、食による住民の健康増進と予防医療の推進に資するため、食と情報に関する技術を基盤とした食品産業や関連産業の振興に関し、相互に連携・協力して協働事業に取り進むこととし、次のとおり協定を締結する。

（協定事項）

第1条 甲、乙及び丙は、次の各号に掲げる事項について、連携・協力を推進すべき課題等に関する情報交換、意見交換を実施し、相互に合意した具体的事業について協働で取り組むものとする。

- (1) 食品産業の振興に関する事項
- (2) 健康関連産業の振興に関する事項
- (3) その他、甲、乙及び丙が必要と認める事項

（協定期間）

第2条 本協定の有効期間は、本契約締結の日から平成26年3月31日までとする。ただし、本協定の有効期間満了日の1ヶ月前までに、甲、乙及び丙から別段の申出がないときには、期間満了日の翌日から1年間有効期間を延長するものとし、その後もまた同様とする。

（その他）

第3条 この協定に定めるもののほか、協働事業の具体的な内容その他の必要な事項は、江別市経済部、北海道情報大学健康情報科学研究センター及び北海道立食品加工研究センター企画調整部の3者が協議のうえ別途決定する。

この協定の締結を証するため、本書3通を作成し、甲、乙及び丙において署名の上、各自その1通を保有するものとする。

平成22年2月16日

甲 北海道江別市高砂町6番地
江別市
市長
サイン

三好 昇



乙 北海道江別市西野町59番地2
北海道情報大学
学長
サイン

長谷川 淳

サイン



丙 北海道江別市文京台緑町589番地4
北海道立食品加工研究センター
所長
サイン

岡田 一寛

サイン



現在地

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [産業・ビジネス情報](#) > [企業立地](#) > [企業立地](#) > [新規立地や増築などを
お考えの企業のみなさまへ](#) > [企業立地に係る産学官連携](#) > [食品産業の振興と集積促進に係る連携・
協力に関する協定](#) > [食品産業の振興と集積促進に係る連携・協力に関する協定の締結](#)

現在地

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [産業・ビジネス情報](#) > [産業振興](#) > [産学連携](#) > [新規立地や増築などを
お考えの企業のみなさまへ](#) > [企業立地に係る産学官連携](#) > [食品産業の振興と集積促進に係る連携・
協力に関する協定](#) > [食品産業の振興と集積促進に係る連携・協力に関する協定の締結](#)

食品産業の振興と集積促進に係る連携・協力に関する協定の締結



[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2014年1月30日更新

食品産業の振興と集積促進に係る連携・協力に関する協定を締結しました

北海道は食品産業の日本一の集積地であり、特に江別市は農商工連携88選に「江別麦の会」が選定されるなど農商工連携の先進事例地として高く評価されています。

このような追い風を受け、これまで先端産業の研究開発型企業を誘致してきた江別RTNパークに、食品産業を集積する方針を固めました。

この具体的な支援策として、組織対組織で食品産業の振興と集積のサポート体制を作るため、平成21年3月10日に連携・協力協定を締結(平成22年1月18日変更協定締結)しました。

[食品産業の振興と集積促進に係る連携・協力に関する協定書 \[PDFファイル/43KB\]](#)

[食品産業の振興と集積促進に係る連携・協力に関する変更協定書 \[PDFファイル/175KB\]](#)

[食品産業の振興と集積促進に係る連携・協力に関する協定実施細目 \[PDFファイル/153KB\]](#)

[| 酪農学園大学のホームページ | 食品加工研究センターのホームページ |](#)

このページに関するお問い合わせ先

企業立地推進室企業立地課 企業立地担当

〒067-8674 北海道江別市高砂町6番地

江別市役所第2別館2階

Tel:011-381-1087 Fax:011-381-1072

[お問い合わせはこちら](#)

写

食品産業の振興と集積促進に係る連携・協力に関する協定書

江別市（以下「甲」という。）、北海道立食品加工研究センター（以下「乙」という。）及び酪農学園大学（以下「丙」という。）は、江別市に所在する食品産業の発展に係る取組を強化するとともに、江別市の産業経済の発展に資する食品産業の集積促進を図るため、連携・協力に関する協定を締結する。

（協定事項）

第1条 甲、乙及び丙は、次の各号に掲げる事項について、漁業・協力推進すべき課題等に関する情報交換、意見交換を実施し、相互に含意した具体的事業について協働で取り組むものとする。

- (1) 食品産業の振興に関する事項
- (2) 食品産業の集積促進に関する事項
- (3) その他、甲、乙及び丙が必要と認める事項

（協定期間）

第2条 本協定の有効期間は、締結の日から平成22年3月31日までとする。

（その他）

第3条 この協定に定めるものは、協働事業の具体的な内容その他必要な事項は、江別市経済部、北海道立食品加工研究センター・企画調整部、及び酪農学園大学エクステンションセンターの3者が協議のうえ別途決定する。

この協定の締結を証するため、本書3通を作成し、甲及び乙並びに丙において署名の上、各自その1通を保有するものとする。

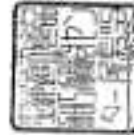
平成21年3月10日

甲 北海道江別市高砂町6番地
江別市



市長 石好子

乙 北海道江別市文京台緑町589番地4
北海道立食品加工研究センター



所長 金澤慶子

丙 北海道江別市文京台緑町582番地
酪農学園大学



学長 谷山弘行



食品産業の振興と集積促進に係る連携・協力に関する変更協定書

江別市（以下「甲」という。）、北海道立食品加工研究センター（以下「乙」という。）および酪農学園大学（以下「丙」という。）とは、平成21年3月10日締結の食品産業の振興と集積促進に係る連携・協力に関する協定（以下「原協定」という。）の変更について次のとおり協定する。

1 原協定第2条に、次のただし書きを加える。

ただし、本協定の有効期間満了日の1ヶ月前までに、甲、乙及び丙から別段の申出がないときには、期間満了日の翌日から1年間有効期間を延長するものとし、その後もまた同様とする。

この協定の締結を証するため、本書3通を作成し、甲及び乙並びに丙において署名押印の上、各自その1通を保有するものとする。

平成22年1月18日

甲 北海道江別市高砂町6番地

江別市

市長 三好

昇



サイン

三好

昇

乙 北海道江別市文京台緑町589番地4

北海道立食品加工研究センター

所長 岡田 一 寛



サイン

岡田一寛

丙 北海道江別市文京台緑町582番地

酪農学園大学

学長 谷山 弘 行



サイン

谷山弘行

食品産業の振興と集積促進に係る連携・協力に関する協定実施細目

(趣旨)

第1条 この細目は、「食品産業の振興と集積に係る連携・協力に関する協定」(平成21年3月10日。以下「協定」という。)の第3条により、江別市(以下「甲」という)、北海道立食品加工研究センター(以下「乙」という。)及び酪農学園大学(以下「丙」という。)の3者が、協定の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

甲、乙及び丙が確認し、必要に応じて実施事項を加えることができる。

(食品産業の振興に関する事項)

第2条 甲、乙及び丙は、食品産業の振興のために、食品関連情報の分析や技術指導、施設及び人材交流等に関する連携・協力を行うように努める。

例えば、食品産業の振興にあたり、企業のニーズと乙及び丙がもつ研究課題(シーズ)とのマッチングが課題となる。甲は、食品産業を交えた懇談の場を主催し、乙及び丙は、食品産業に関連する最新情報を提供する。市内に存在することで、合理的かつ効率的な技術指導や会合開催、施設の活用、人材交流等が可能となる。甲、乙及び丙は、連携・協力により、柔軟な対応をとることで、変化する経済環境の中においても、食品産業をサポートできる体制の確立は、食品産業の振興に大きな支えとすることができる。

(食品産業の集積に関する事項)

第3条 甲、乙及び丙は、食品産業の集積に関して、地域資源の加工・高付加価値化を目指し、地域経済の活性化を図るために連携・協力を行うように努める。

例えば、甲、乙及び丙は、産学官連携で組織している「江別経済ネットワーク」に参画し、地域ブランドである「江別小麦めん」で高い評価を受け、農商工連携の先進事例地として、国の農商工連携88選に選ばれた実績をもつ。甲は、乙及び丙の地域資源を磨く加工技術の指導や商品開発及び流通分析の連携・協力を得ることで新たな地域ブランドを発信することが可能となる。新商品の開発に強い関心を持つ既存食品企業の高度化及び江別への食品産業の集積につながり、新たな技術開発や雇用面など地域が活性化することができる。こうした成果は、甲、乙及び丙が講演会や勉強会や成果発表などを通じて重層的にPRすることで、さらなる集積への足がかりとする

(その他)

第4条 その他、甲、乙及び丙が必要と認められる事項については、協力可能な事項は協議して決定することとする。

例えば、食品産業を支える農業生産者にも農商工連携が浸透し、市内には農家の女性が組織する農産物加工品部会が組織されている。しかしながら、商品として市民に提供するためには、規模の大小に限らず、食品産業に指導する加工技術や商品開発・流通など指導が必要である。特に甲は、乙及び丙の協力を得て、農業生産者の食品加工への支援が受けられる環境を創る努力をするなど必要と認められる事項について、実施事項に加えることができるように努力する。また、当該細目を確認するのにあたり、甲、乙及び丙の関係者会議を最低年1回は開催するように努力する

現在地

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [産業・ビジネス情報](#) > [企業立地](#) > [企業立地](#) > [新規立地や増築などをお考えの企業のみなさまへ](#) > [企業立地に係る産学官連携](#) > [PR活動](#) > [アグリビジネス創出フェア in HokkaidoでのPR活動の実施](#)

現在地

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [産業・ビジネス情報](#) > [産業振興](#) > [産学連携](#) > [新規立地や増築などをお考えの企業のみなさまへ](#) > [企業立地に係る産学官連携](#) > [PR活動](#) > [アグリビジネス創出フェア in HokkaidoでのPR活動の実施](#)

アグリビジネス創出フェア in HokkaidoでのPR活動の実施



[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2015年12月14日更新

「2015アグリビジネス創出フェア in Hokkaido」での江別市PR活動

「サッポロファクトリー」(札幌市中央区)で平成27年11月27日・28日の2日間開催された「2015アグリビジネス創出フェアinHokkaido」において、「食品産業の振興と集積促進に係る連携・協力に関する協定」および「食と健康と情報に係る連携と協力に関する協定」による連携事業の一環として、地方独立行政法人北海道立総合研究機構食品加工研究センター(以下、食品加工研究センター)、酪農学園大学、北海道情報大学、江別市の4者で共同ブースを設け、江別市における「食のまちづくり」のPR活動を行いました。



当イベントには32の団体が出展し、27日金曜日はビジネス関係者、28日土曜日は家族連れが多く、2日間で約1,400名の来場がありました。

今回の江別市共同ブースでは、新栄台のシフォンケーキ店「LeCalme(ル・カルム)」が、食品加工研究センターの研究成果である「小豆粉」を小麦粉からおきかえて製造したシフォンケーキの試食を行い、9割近い方から味が良いとの評価をいただきました。「LeCalme」では、今後しっとり感をさらに追求されるそうです。販売についてはお店(電話011-385-7799)にお問い合わせください。

なお、「小豆粉」は、食品加工研究センターが、かん 餡以外の小豆の需要を伸ばすため研究開発したもので、生の小豆が製粉されていることから、小豆の持つ食物繊維・ミネラル・ポリフェノールをそのまま持っている健康的な食品です。

また、酪農学園大学は大学の案内、北海道情報大学は「食の臨床試験」のPRや臨床試験ボランティアの募集、その他、各種チラシやパンフレットの配布により、来場者に江別市の取り組みをPRしました。

平成28年8月
市立病院管理課

江別南空知4町医療連携協議会について

江別南空知4町医療連携協議会は、江別市の近隣に位置する南空知医療圏の一部である南幌町・長沼町・由仁町・栗山町の4町と江別市の間で、各病院の診療体制等について情報交換を行うとともに、空知南部の公的医療機関とのネットワーク化について協議・調整をする場として、平成21年から計7回開催されている。

本協議会は、江別市立病院の外、町立南幌病院、町立長沼病院、由仁町立病院、栗山赤十字病院で構成されている。

江別市立病院は、周辺地域を含めた中核的病院としての役割を果たすべく、南空知地域等の公的病院との広域連携について取組みを行っており、その一環として本協議会を開催している。

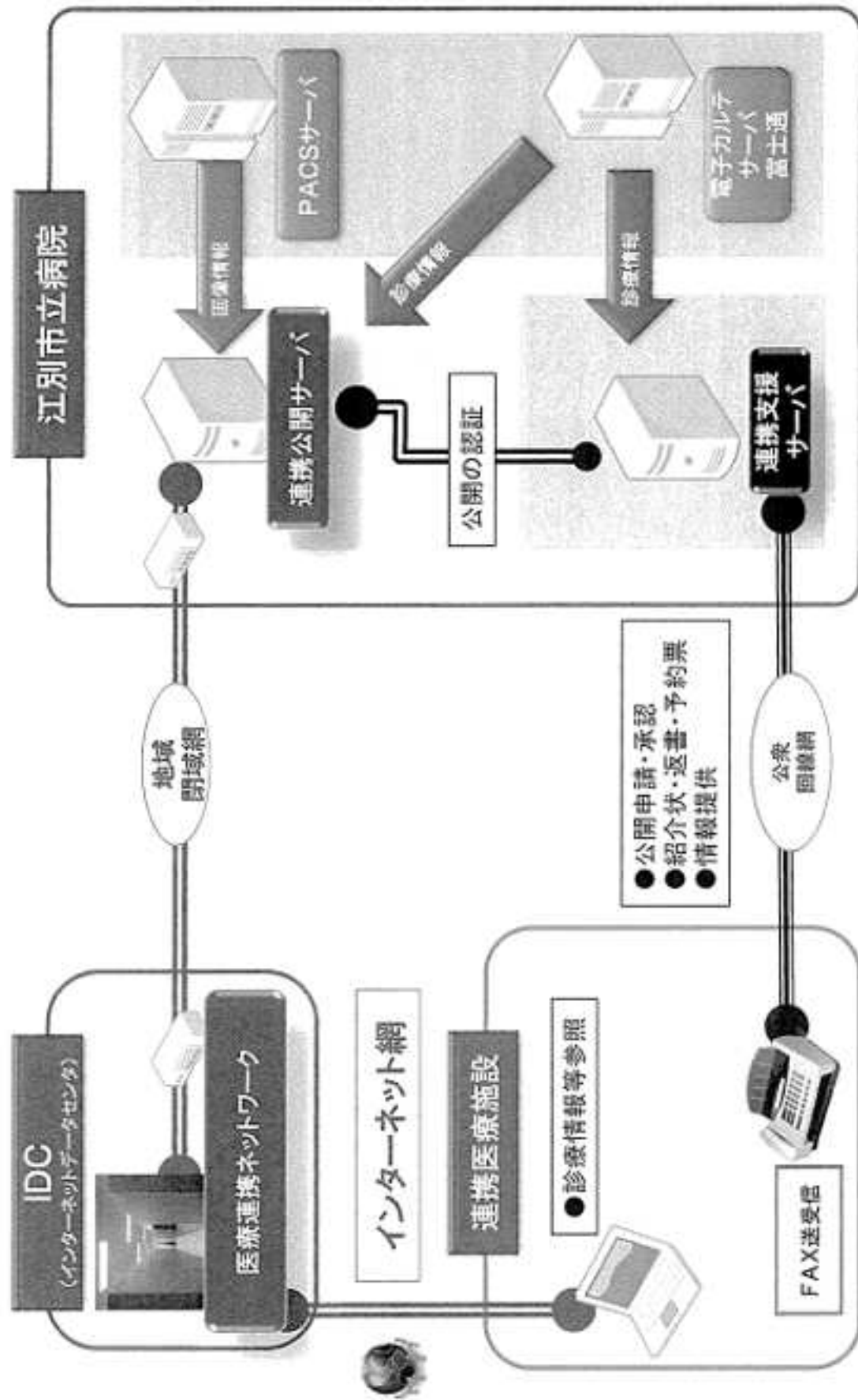
この協議会は医師派遣にかかる連携等について調整・報告する場となっており、実際に協議会を構成する病院へ総合内科をはじめとした医師の派遣を行っている状況にある。

※江別市立病院から各病院への派遣実績

平成25年度	栗山赤十字病院	1人	計	9日
	町立南幌病院	11人	計	139日
平成26年度	町立南幌病院	17人	計	178日
平成27年度	町立南幌病院	19人	計	213日

江別市立病院 地域医療連携システムについて

■ 地域医療連携システム導入構成



■ 診療情報の共有

電子カルテに記録された診療情報を一画面上に集約して時系列で表示します。各アイコンをクリックするだけで、見たい診療情報の詳細を簡単に参照頂くことができます。

The screenshot displays a web-based medical information system. At the top, patient information is shown: ID 1941, birth date 1941年04月20日生, age 69歳, sex 男性, and date 2016年05月16日. Below this, a timeline of treatments is visible, with a red box highlighting the '電子カルテから参照できるもの' (Items accessible from the electronic medical record) section. An arrow points from this section to a detailed view of a chest X-ray, labeled '記載内容詳細' (Detailed description of the record). The X-ray view shows two images of a chest, with a 'GASTRO-C' label and a hand icon indicating a specific area of interest. The interface includes various navigation icons and a search bar.

■ 検査結果の参照

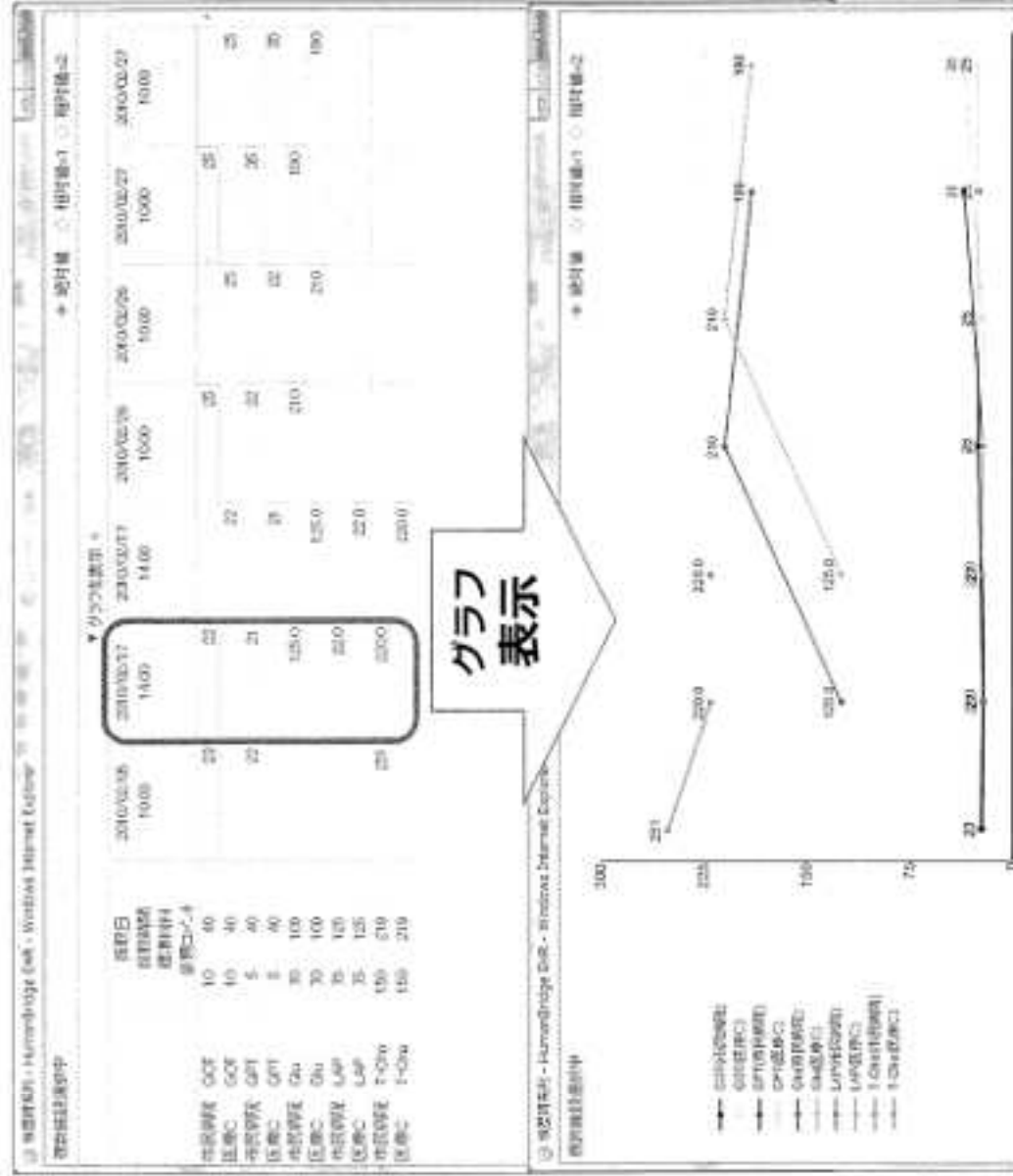
検体検査結果を横断的に時系列で表示したり、グラフ表示することができます。

検査結果参照

検体検査結果を、採取された日時毎に時系列の表示が可能です。
(採取された順番に並べるだけではありません)

経過を視認しやすいグラフ表示も可能です。
(ワンクリックで簡単に表示ができます。)

異なる医療機関で採取された結果も並べて表示できます。
(基準値が違う可能性があるため、手動となります)



江別市 学生地域定着推進自治体連携事業

背景

○江別市内に4つの大学(酪農学園大学・札幌学院大学・北翔大学・北翔道情報大学)が所在(約1万人の在学生)

地域課題

- ・卒業後の地域定着の低さ ⇒ 市内大学卒業者の市内就職比率1.7%
- ・市内大学学生数の減少 ⇒ 15,077人(H16) ⇒ 10,711人(H26)

目的

江別市と空知総合振興局管内の7自治体(芦別市・赤平市・三笠市・南幌町・由仁町・長沼町・栗山町)が連携して、市内の大学生が地域を知り、愛着を持つことができる取組を提供し、卒業後も地域に定着する新しい人の流れをつくる

○在学中に地域で活動し、卒業後、地域定着を進める広域連携での取組み

◎江別市内4大学・江別市等8自治体・関連団体等 ⇒ 【広域連携協議会】を組織し、地域ボランティア・地元企業へのインターンシップのマッチングを実施

◎学生と地域の結びつきを強め、将来の雇用・定着につなげる

大学・学生のニーズ

- ・インターンシップやボランティア経験の機会
- ・社会に出る実践力の獲得
- ・将来、地域で活躍する場を考える機会

学生地域定着推進広域連携協議会

江別市内4大学
独自のキャリア支援
メニューになる

○地域活動(ボランティア・インターンシップ)に係る

- 多様なプログラムの集約とマッチング
- 研修による学生のスキルアップ
- 参加学生の登録・管理・評価・費用弁償・保険等の事務集約と標準化
- 協議会ホームページ等を用いたPR

※H27年度1月活動開始 7事業実施 参加学生のべ113名(H27実績)

地域のニーズ

- ・就職・定住等、若者に移住してほしい
- ・学生の参加による地域の活性化

地方公共団体が協議会運営経費・学生費用弁償を負担

学生地域定着推進広域連携協議会 ～地域活動実践例～

江別市

- ・プロジェクトマンピング制作のためのワークショップ
- ・商業施設(EBRI)でのチョークアート制作



余市町 小樽

南幌町(予定)

- ・小学生の放課後・休日支援
- ・総合計画策定ワークショップ等

長沼町

- ・住民参加型地域情報発信ワークショップ
- ・幅広い農業の取組みをめぐるワークショップ



- 赤平市(予定)
- ・学生インターンシップ事業
 - ・野生生物生態系調査
 - (地域生態系フィールドワークの実施)

赤平市

- 声別市(予定)
- ・学生インターンシップ事業
 - ・日本プロ野球08会
 - ・ベースボールサマーキャンプ運営
 - ・地域観光施策の検証

声別市

三笠市(予定)

- ・夏まつりの運営ボランティア

北海道

三笠市

栗山町

- ・子育て支援ボランティア(子育て支援センター・児童センターでのイベント企画等)
- ・地域イベント運営ボランティア(くりやまウインターフェスティバル)等



栗山町 夕張

由仁町

由仁町(予定)

- ・由仁町夏祭りでのイベント企画
- ・保育ボランティア

千歳 苫小牧

Google

＜事業の概要＞

- 目的：①初めて子宮頸がん検診の対象となる20歳の女性への意識づけ
②子宮頸がん検診未受診者への意識づけと検診受診率の向上

実施時期：平成28年5月より開始

- 対象者：① 江別市に住む20歳を迎えた女性
今年度は平成8年4月1日生～平成9年3月31日生
② 平成28年度検診無料クーポン対象者のうち9月末で未利用者

実施方法：①20歳は誕生月の翌月上旬にがん検診受診勧奨文書を送付
②クーポン未利用者は10月にがん検診受診勧奨文書を一齐送付
※案内時に自己採取HPV検査希望者を募り、希望者へ検査キットを送付し無料で検査を実施

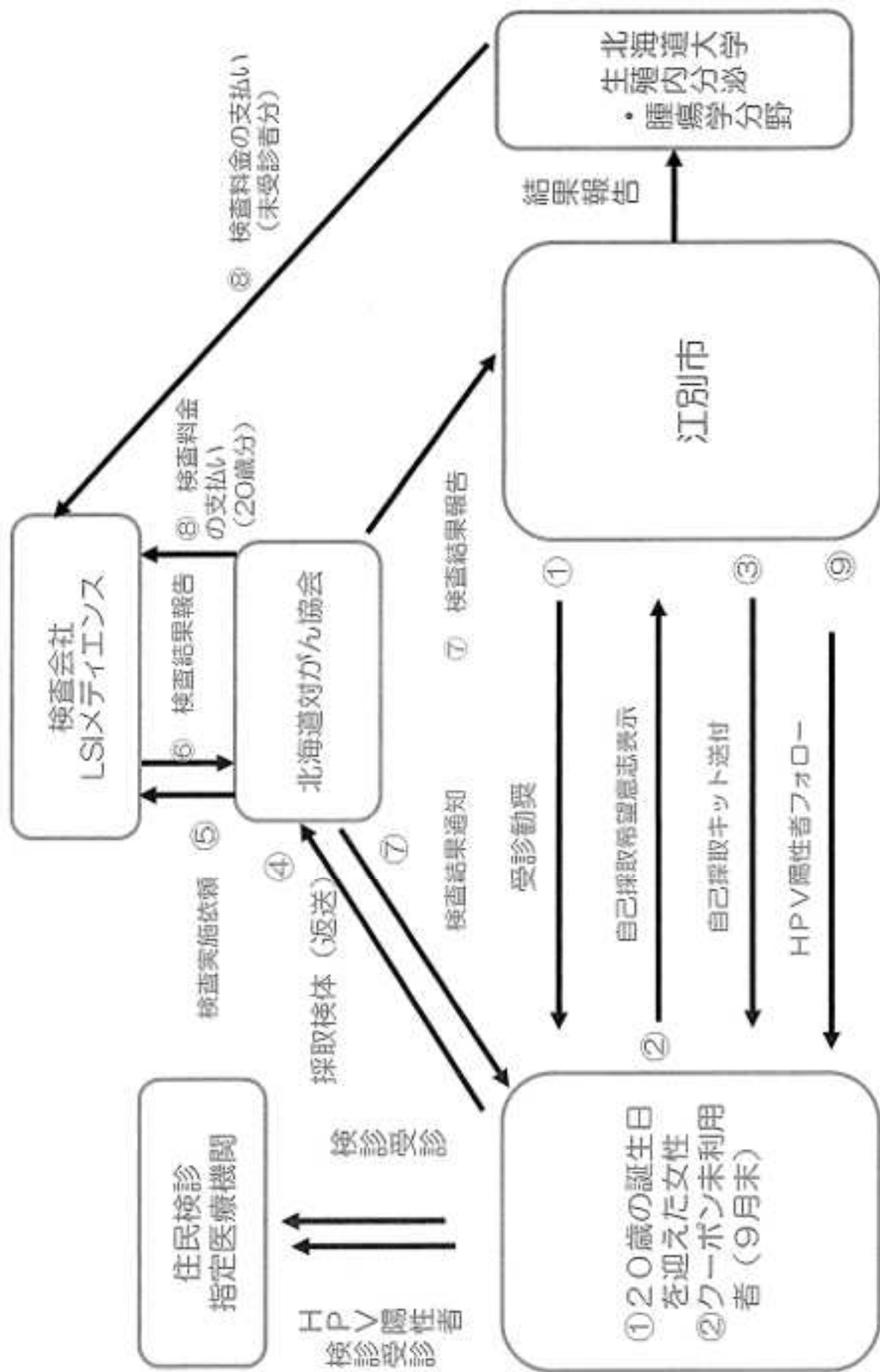
実施主体：江別市

協力機関：北海道対がん協会、北海道大学

協力者：株式会社キアゲン（自己採取キットの提供等）
LSIメデイエンス株式会社（HPV検査機関）

※2～3年で効果を検証し対象年齢、実施方法等について評価する

運用フロー



※自己採取キットは、株式会社 キアゲンに提供していただく



保存版
《前期分》

えべつ市民カレッジ 連携講座



えべつ市民カレッジは、市と市内4大学の連携により開催する市民対象の講座です。

講座は、市と4大学共催の「ふるさと江別塾」と、各大学が開催する一般公開講座、市主催の講座で構成されています。

どなたでも受講できますので、各講座の申し込み先にお申込みください。(一部対象が限られている講座があります)

また、現在カレッジ生を募集しています。カレッジ生には「えべつ市民カレッジ手帳」を発行します。この手帳は受講の履歴を記録でき、学びの成果を実感することができます。

さらに、受講時にもらえる受講シール(単位)の数に応じて、修了証(学位)を授与します。希望される場合は、下記の方法にてお申し込みください。



●受講申込方法

各大学等に直接申し込みます
定員がいっぱいになり次第申し込みを締め切ることがあります。

●カレッジ生になるには

- ・登録できる方……市内にお住まいの方、市内で働く方、市内で学ぶ方
- ・登録料……無料(講座により受講料がかかる場合があります)
- ・登録方法……登録申込書に必要事項を記入のうえ、教育委員会生涯学習課へ郵送してください。
(随時受付) (FAX、Eメールも可)
申込書は教育庁舎、市役所本庁舎1階情報公開コーナー、各公民館で配布するほか、市ホームページからも入手可能です。
- ・カレッジ生の特典……講座一覧の送付

●申込み、問い合わせ先

〒067-0074 江別市高砂町24番地の6 江別市教育委員会生涯学習課生涯学習係
TEL: 011-381-1062 FAX: 011-382-3434
E-mail: shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp



えべつ市民カレッジ連携講座

酪農学園大学

エクステンションセンター生涯学習課

江別市文京台緑町582 TEL:011-388-4131 FAX:011-387-2805

E-mail: rg-ext@rakuno.ac.jp

名称	講師	定員	開催予定 日時	単位	受講料 (円)	その他	申込み期間
人と動物の素敵な関係講座Ⅰ ～現代社会を動物と共に～	酪農学部教授 藤澤 剛 酪農学部教授 山下 和人	70	6月5日(日) 9時00分～12時10分	1	1,000	対象：小学5 年生以上	3月17日(休) ～5月13日(金)
人と動物の素敵な関係講座Ⅱ ～現代社会を動物と共に～	酪農学部教授 上野 博史 酪農学部教授 佐野 忠士	70	6月12日(日) 9時00分～12時10分	1	1,000	対象：小学5 年生以上	3月17日(休) ～5月13日(金)
ガーデニング講座Ⅱ	農食環境学部准教授 藤 志郎	30	6月19日(日) 9時30分～11時30分	1	1,500	対象：小学5 年生以上	3月17日(休) ～5月23日(月)
たのしい理科実験講座	酪農学部准教授 岩野 英知 農食環境学部教授 玉利 和弘	50	7月10日(日) 9時00分～12時10分	1	無料	対象：小学5 年生以上 保護者同伴の 場合低学年可	3月17日(休) ～6月24日(金)
ガーデニング講座Ⅲ	学外講師 長谷川 豊	30	7月16日(土) 9時30分～11時30分	1	1,500	対象：高齢者 向け	3月17日(休) ～6月24日(金)
円山動物園体験講座	農食環境学部教授 金子 正美	30	7月17日(日) 10時00分～15時00分	1	1,000	現地集合、現 地解散。交通 費、入園料、 昼食代は個人 負担	3月17日(休) ～6月24日(金)
楽しくスポーツ・健康講座Ⅰ	農食環境学部准教授 山口 太一	30	7月31日(日) 9時00分～12時00分	1	1,000	対象：小学5 年生以上 室内用運動靴 持参、動きや ずい服装で	3月17日(休) ～7月8日(金)
今日から役立つ食育講座Ⅰ	農食環境学部講師 橋原 孝志 農食環境学部教授 杉村 留美子	70	9月3日(土) 9時00分～12時10分	1	1,000	対象：小学5 年生以上	3月17日(休) ～8月1日(月)
楽しくスポーツ・健康講座Ⅱ	農食環境学部准教授 山口 太一 学外講師 多賀 寿未代	30	9月4日(日) 9時00分～12時00分	1	1,000	対象：小学5 年生以上 室内用運動靴 持参、動きや ずい服装で	3月17日(休) ～8月1日(月)
狩猟管理・自然環境講座	農食環境学部准教授 伊西田 宏正 農食環境学部准教授 保原 達	80	9月11日(日) 9時00分～12時10分	1	1,000	対象：小学5 年生以上	3月17日(休) ～8月10日(金)
今日から役立つ食育講座Ⅱ	農食環境学部教授 安川 澄子	40	10月29日(土) 9時30分～12時30分	1	1,500	対象：小学5 年生以上	3月17日(休) ～10月6日(休)



札幌学院大学

教育支援課

江別市文京台11

TEL:011-386-8111 FAX:011-386-8113

名称	講師	定員	開催予定 日時	単位	受講料 (円)	その他	申込み期間
経済学部公開講座 (第9回) (経済学特別講義B) テーマ:「グローバル社会の中の北海道」(仮) (全15回)	経済学部教授 平澤 亨 他	無し	9月23日(金)～1月20日(金) 13時10分～14時40分	15	無料	毎週金曜日 (12/30、1/6、1/13は休講)	予約不要
人文学部公開講座 (第37回) (人間論特殊講義) テーマ:「人文力ー資源としての人文知、闘争としての人文知」 (全15回)	人文学部教授 奥田 統己 他	無し	8月22日(月)～8月26日(金) 10時50分～16時20分 (昼休み:12時20分～13時10分)	15	無料	毎日 1日3講義	予約不要
法学部公開講座 (第27回) (法政総合講座日) テーマ:「地域・市民社会から世界を読み解く」(仮) (全15回)	法学部教授 清水 敏行 他	無し	9月21日(水)～1月18日(水) 13時10分～14時40分	15	無料	毎週水曜日 (11/23、12/28、1/4は休講)	予約不要



北翔大学

地域連携センター

江別市文京台23 TEL:011-387-3939 FAX:011-387-3746

E-mail: kouzacen@hokusho-u.ac.jp

名称	講師	定員	開催予定 日時	単位	受講料 (円)	その他	申込み期間
セルフ・イメージを変える (全2回)	生涯スポーツ学部 スポーツ健康学科教授 佐藤 至英	30	5月21日(土) 6月18日(土) 14時00分～15時30分	2	無料		～5月11日(水)
介護をする人のためのセルフケア講座 (全2回)	教育文化学部 心療カウンセリング 学科教授 風間 雅江 生涯スポーツ学部 健康福祉学科准教授 本間 美幸 講師 八巻 真穂	30	6月18日(土) 7月9日(土) 13時30分～15時30分	2	無料	持ち物 筆記用具 上靴 動きやすい服装	～6月8日(水)
「聖書」に学ぶ生きるヒント	生涯スポーツ学部 スポーツ健康学科教授 佐藤 至英	30	7月2日(土) 14時00分～15時30分	1	無料		～6月22日(水)

名称	講師	定員	開催予定 日時	単位	受講料 (円)	その他	申込み期間
世界の化石と友だちになろう! ～モロッコのウニ化石のク リーニングとレプリカづくり～	元 生涯学習システム学 部 (現 教育文化学部) 教授 那賀島 彰一	20	7月30日(土) 13時00分～16時00分	1	材料費 800円		～7月20日(金)
【エンディングノート】を書いて みよう! ～思いや願いをきちんと伝え、 安心して多をよりよく生きるた めに～	元 生涯学習システム学 部 (現 教育文化学部) 教授・認知症ケア指導 管理士・終活カウンセ ラー・エンディングノ ト書き方セミナー講師 那賀島 彰一	20	8月3日(金) 13時30分～15時30分	1	エンディ ングノート代 1,000円		～7月20日(金)
人が集えば文殊の知恵袋講座① 初夏の野幌森林公園を歩こう!	コーディネーター 短期大学部ライフデザ イン学科教授 田口 留子 ゲストスピーカー 野幌森林公園自然ふれ あい交流館副館長及館長 齋谷 真知子 氏	30	6月21日(火) 13時10分～14時40分	1	無料		～6月10日(金)
人が集えば文殊の知恵袋講座② ポーセラーツ等を通じた作品づ くりの楽しさ	コーディネーター 短期大学部ライフデザ イン学科教授 田口 留子 ゲストスピーカー Art salon Aya (ア ートサロン・アヤ) 所 長 平野 文子 氏	30	7月12日(火) 13時10分～14時40分	1	無料		～7月1日(金)
人が集えば文殊の知恵袋講座③ 江別カルタで辿る江別物語 2016	コーディネーター 短期大学部ライフデザ イン学科教授 田口 留子 ゲストスピーカー 江別町商會副代表 長 梶 幸 氏	30	8月6日(土) 13時10分～14時40分	1	無料		～7月27日(金)
人が集えば文殊の知恵袋講座④ 初秋の野幌森林公園を歩こう!	コーディネーター 短期大学部ライフデザ イン学科教授 田口 留子 ゲストスピーカー 野幌森林公園自然ふれ あい交流館副館長及館長 齋谷 真知子 氏	30	9月20日(火) 13時10分～14時40分	1	無料		～9月9日(金)
表千家茶道教室 6月コース (全4回)	表千家準教授 深井 宗久	8	6月7日(火)～6月28 日(火) 13時30分～15時30分	4	教材費 5,000円		～5月27日(金)
表千家茶道教室 7月コース (全4回)	表千家準教授 深井 宗久	8	7月5日(火)～7月26 日(火) 13時30分～15時30分	4	教材費 5,000円		～6月24日(金)
表千家茶道教室 8月コース (全4回)	表千家準教授 深井 宗久	8	8月2日(火)～8月30 日(火) 13時30分～15時30分	4	教材費 5,000円		～7月22日(金)

名称	講師	定員	開催予定 日時	単位	受講料 (円)	その他	申込み期間
親子茶室教室9月コース (全4回)	親子茶室教室 深井 家久	8	9月6日(火)～9月27日(火) 13時30分～15時30分	4	教材費 5,000円		～8月26日(金)
メディックファーストエイド チャイルドケアプラス・コース (全2回)	北海道救急法研究会 代表MFAインストラク ター・トレーナー 藤田 佳弘	12	6月18日(土) 9時00分～17時00分 6月19日(日) 9時00分～13時00分	2	16,800		～6月8日(水)
メディックファーストエイド ベーシックプラス・コース	北海道救急法研究会 代表MFAインストラク ター・トレーナー 藤田 佳弘	12	6月25日(土) 9時00分～17時30分	1	13,200		～6月15日(水)
介護職員初任者研修講座 (全15回)	サンシャイン総合 学園	25	8月22日(金)～9月12日(金) 9時00分～17時10分	15	74,400	月～金曜日	～8月10日(水)



えべつ市民カレッジ連携講座

北海道情報大学

通信教育部(地域連携・産学連携センター係)

江別市西野橋59-2 TEL:011-385-4427 FAX:011-385-1074

E-mail: hiukouza@do-johodai.ac.jp

名称	講師	定員	開催予定 日時	単位	受講料 (円)	その他	申込み期間
ITでサポートするわたしのからだ ～スマホアプリで健康に!～	医療情報学部 医療情報学科准教授 酒井 雅裕	30	5月31日(火) ※場所:札幌サテライト 18時00分～19時30分	1	500		5月9日(月) ～5月20日(金)
自分がわかる教育カウンセリング 体験 (基礎講座)	経営情報学部 システム情報学科教授 中村 正巳	10	6月4日(土) ※場所:札幌サテライト 9時30分～17時00分 (休憩1時間30分)	1	1,000		5月9日(月) ～5月20日(金)
デジタルビジネス開講① 「デジタルと情報社会」	経営情報学部 先端経営学科特任教授 中村 忠之	30	6月7日(火) ※場所:札幌サテライト 18時30分～20時00分	1	500		5月9日(月) ～5月20日(金)
情報を食べる ～おいしさの秘訣は「情報」!?～	医療情報学部 医療情報学科准教授 奥村 晶子	30	6月21日(火) ※場所:札幌サテライト 18時00分～19時30分	1	500		5月23日(木) ～6月3日(金)
デジタルビジネス開講② 「e-ビジネスからデジタルビ ジネスへ」	経営情報学部 先端経営学科特任教授 中村 忠之	30	6月28日(火) ※場所:札幌サテライト 18時30分～20時00分	1	500		5月30日(木) ～6月10日(金)

名称	講師	定員	開催予定 日時	単位	受講料 (円)	その他	申込み期間
さらに自分がわかる教育カウンセリング体験 (応用講座)	経営情報学部 システム情報学科教授 中村 正巳	10	7月2日(土) 9時30分～17時00分 (休憩1時間30分)	1	1,000		6月6日(月) ～6月17日(金)
夏休み「読書感想文」のサポート法 ～こどもに寄り添う手伝いすぎない手伝い方～	経営情報学部 医療情報学科講師 田中 里実	20	7月5日(水) 10時40分～12時10分	1	500	対象：小学生 の保護者	6月6日(月) ～6月17日(金)
よみなおす「赤毛のアン」 ～カナダ東海岸の文化にふれる～	経営情報学部 医療情報学科講師 荒木 穂子	20	7月9日(土) 13時30分～15時00分	1	500		6月13日(木) ～6月24日(金)
食と認知機能 ～認知症なんて怖くない! はつらつシニアライフにむけて～	経営情報学部 医療情報学科教授 西平 順	30	7月14日(水) ※場所：札幌サテライト 18時00分～19時30分	1	500	対象：高齢者	6月20日(木) ～7月1日(金)
夏休み自由研究教室こどもビデオ講座 ～めざせ映像監督! 広がる自分ワールド～	情報メディア学部 情報メディア学科教授 向田 茂 情報メディア学部 情報メディア学科准教授 安田 光孝	10	7月23日(土)、 7月24日(日) 9時30分～16時30分 (昼休憩1時間)	2	無料	対象：小学3 年生～小学6 年生	6月27日(月) ～7月8日(金)
ミステリーを10倍楽しく読む方法 ～日本ミステリーの特徴を知ろう～	経営情報学部 先端経営学科准教授 諸岡 卓真	30	7月30日(土) ※場所：札幌サテライト 13時30分～15時00分	1	500		7月4日(月) ～7月15日(金)
暗号の世界への招待 ～身の周りは暗号だらけ～	情報メディア学部 情報メディア学科講師 福光 正幸	30	8月6日(土) ※場所：札幌サテライト 13時30分～15時30分	1	500		7月11日(木) ～7月22日(金)
夏休み自由研究教室 ～ロボットで科学を学ぼう・小学生編～	経営情報学部 システム情報学科准教授 福橋 二郎	40	8月11日(水) 13時00分～17時00分	1	無料	対象：小学校 高学年とその 保護者	7月19日(水) ～7月29日(金) 親子10組 (各組最大6名) まで
夏休み自由研究教室 ～ロボットで科学を学ぼう・中学生編～	経営情報学部 システム情報学科准教授 福橋 二郎	10	8月12日(木) 13時00分～17時00分	1	無料	対象：中学生	7月19日(水) ～7月29日(金)
心を打つ英語スピーチを味わう ～キング牧師の「I Have a Dream」～	経営情報学部 先端経営学科准教授 竹内 典彦	20	9月10日(土) 13時30分～15時30分	1	500		8月24日(水) ～9月2日(金)

名称	講師	定員	開催予定 日時	単位	受講料 (円)	その他	申込み期間
デジタルビジネス開話③ 「デジタルビジネスを知る」	経営情報学部 先端経営学科特任教授 中村 忠之	30	9月13日(火) ※場所：札幌サテライト 18時30分～20時00分	1	500		8月24日(火) ～9月2日(金)
お手持プログラミング ～スマートフォンアプリ(Android) を作ってみよう～	経営情報学部 システム情報学科教授 谷川 健	10	9月24日(土) 13時00分～17時30分	1	3,000		8月29日(月) ～9月9日(金)
ネット社会を支えるセキュリティ 技術 ～パソコンで体験する悪魔の仕 組み～	経営情報学部 システム情報学科准教授 中島 潤	30	9月29日(木) 18時30分～20時00分	1	3,000		9月5日(月) ～9月16日(金)
デジタルビジネス開話④ 「デジタルビジネスとこれからの 社会」	経営情報学部 先端経営学科 特任教授 中村 忠之	30	10月4日(火) ※場所：札幌サテライト 18時30分～20時00分	1	500		9月5日(月) ～9月16日(金)
心を打つ英語スピーチを味わう ～オバマ大統領の2015年一般 教書演説～	経営情報学部 先端経営学科教授 竹内 典彦	20	10月8日(土) 13時30分～15時30分	1	500		9月12日(月) ～9月23日(金)
フォトムービーを作成しよう ～Windowsムービーメーカー の使い方～	経営情報学部 システム情報学科准教授 長尾 光悦	10	10月20日(木)、 10月27日(木) 18時30分～20時00分	2	3,000		9月26日(月) ～10月7日(金)



えべつ市民カレッジ連携講座

江別市が主催する講座

(申込先) 保健センター

江別市若草町6-1 TEL: 011-385-5252 FAX: 011-385-8130

E-mail: hoken@city.ebetsu.lg.jp

名称	講師	定員	開催予定 日時	単位	受講料 (円)	会場	申込み期間
E-リズム 覚えようAコース (全2回)	地域ウェルネス・ ネットインストラ クター	なし	5月31日(火)、 6月14日(火) 10時00分～11時30分	2	無料	大麻体育館 持ち物 上靴、飲み物、 タオル	申込不要 (当日9時50分 までに会場へ)

上記以外の講座についても実施予定がありますので、日程等が確定次第、追加していきます。

えべつ市民カレッジ 登録申込書

申込年月日 年 月 日

フリガナ		性別
氏名		男・女
生年月日	大正・昭和・平成・西暦 年 月 日生 (歳)	
住所	〒 -	
連絡先	電話 () - FAX () -	
職場名 学校名	学年 年	
Eメールアドレス (パソコン・スマートフォン等のアドレス を記入いただくと、講座情報等をお知らせ します)	@	
事務局記入欄	学生番号	

<申込方法>

上記登録申込書に必要事項を記入のうえ、江別市教育委員会生涯学習課まで郵送、FAX
またはEメールにてお申し込みください。

江別市教育委員会生涯学習課生涯学習係
〒067-0064 江別市高砂町24番地の6
TEL: 011-381-1062 FAX: 011-382-3434
Eメール: shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

現在地 [トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [市政情報](#) > [市政運営](#) > [計画・施策](#) > [江別市の水道・下水道](#) > [市民・利用者の方へ](#) > [水道に関すること](#) > 札幌市水道局との協定締結について

現在地 [トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [くらしの情報](#) > [水道・下水道](#) > [水道](#) > [江別市の水道・下水道](#) > [市民・利用者の方へ](#) > [水道に関すること](#) > 札幌市水道局との協定締結について

札幌市水道局との協定締結について



[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2015年4月22日更新

札幌市水道局と連携協力に関する基本協定を締結しました

平成27年3月17日(火曜日)に、江別市水道部は、札幌市水道局と水道事業の連携強化を目的とした基本協定を締結いたしました。

この連携協定を締結することにより、隣接都市という地理的メリットを生かし、災害時の水の相互融通といった災害対策や研修などによる人材育成を進めていきます。



【協定の目的】

水道事業に係る各種業務について相互に協力し、連携することにより、両市の技術力強化や利用者サービスの向上を目的とします。

【連携の主な取り組み】

- (1) 緊急時連絡管の整備といった災害時の相互応援に関する取り組み
- (2) 研修など人材育成・組織力強化に関する取り組み
- (3) その他の目的を達成するための取り組み

このページに関するお問い合わせ先

水道整備課 計画係

〒067-0071 北海道江別市萩ヶ岡1番地の4 江別市水道庁舎2階

Tel:011-385-1216 Fax:011-385-1219

[お問い合わせはこちら](#)

業務時間:月曜日～金曜日の8時45分から17時15分まで(祝日と年末年始の閉庁期間を除く)